

第三十一回 貴族院議事速記録第六號

實業教育費國庫補助法改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正三年二月五日

内閣總理大臣 伯爵山本權兵衛
文部大臣 奥田義人
博士

議事日程 第六號 大正三年二月十日

大正二年一月十日(火曜日)

午前十時六分開議

第一 實業教育費國庫補助法改正法律案(政府提出)
第二 畜牛結核病豫防法中改正法律案(政府提出)
第三 災害地地租免除法案(衆議院提出、政府送付)
第四 改租延納年賦金免除ニ關スル法律案
(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告) 第一讀會
第一讀會ノ續(委員長報告) 第一讀會

第一條 實業教育ヲ獎勵スル爲國庫ハ毎年豫算ヲ以テ定ム所ノ金額ヲ支出ス
第二條 主務大臣ハ前條金額ノ範圍内ニ於テ獎勵上必要アリト認ムル公立私立ノ實業學校ニ對シ補助金ヲ交付ス

第三條 補助金ノ交付ハ用途ヲ指定シテ臨時ニ補助スル場合ヲ除クノ外三年ヲ以テ一期トス

第四條 補助金ノ年額ハ補助ヲ受クル學校ノ設立者ノ負擔額ヲ超ユルコトヲ得ス但シ用途ヲ指定シテ臨時に交付スル補助金及實業補習學校ニ對シ交付スル補助金ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條 補助ヲ受クル學校ノ設立者ハ補助期間其ノ學校經費ヲ繼續支出スル義務アルモノトス

第六條 主務大臣補助ヲ受クル學校ノ管理不適當ナリト認メタルトキ又ハ其ノ學校主務大臣ノ定ムル規程ニ違背シ第五條ノ義務ヲ盡サス若ハ補助ノ條件ニ違反シタルトキハ補助ヲ廢止シ若ハ停止シ又ハ補助金額ヲ減少スルコトヲ得

第七條 主務大臣ハ第二條ノ補助金ノ外公立私立ノ實業學校教員ノ養成費其ノ他實業教育獎勵上必要ト認ムル費用ニ充ツル爲第一條ノ豫算定額ノ八分ノ一以内ヲ支出スルコトヲ得

第八條 補助金ノ交付ニ關シ必要ナル規程ハ主務大臣之ヲ定ム

附 則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現ニ存スル補助ノ期間ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

〔國務大臣奥田義人君演壇ニ登ル〕

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、實業教育費國庫補助法改正法律案、政府提出、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

○國務大臣(奥田義人君) 唯今議題ニ上リマシタル實業教育費國庫補助法改正案ノ内容ニ付キマシテ茲ニ一言ヲ述ベタイト考ヘマス、各位ニ於テ御承知アラセラレテ居リマスル通リニ、現行實業教育費國庫補助法ハ其制定以來早既ニ二十年ノ星霜ヲ經過イタシテ今日ニ至ルノデアリマス、其間ニ時勢ノ進蓮ニ伴ヒマシテ、施行以來ノ實蹟ニ徵シテ見マスノニ、種々改正ヲ必要トスル點ガアルコトヲ認メマシタ、今其要點ヲ擧ゲテ見マスレバ、第一ニ現行法ニ依テ見マスルト云フト、補助金ヲ受クベキ實業學校ハ公立ノ學校ニ限ッテアリマス、唯監督官廳ノ認可ヲ經タル農工商組合ニ於テ設立シタル實業學校ハ、文部大臣ノ特別ノ認定ニ依テ、公立學校ニ準ズルコトガ出來ルト云フダケノ例外規定ガアルノミデアリマス、然ルニ今日ノ狀態ニ照シテ見マスルト云フト、御承知アラセラルガ如ク、地方ノ教育費ハ非常ナル膨脹ヲ來タシテ居リマシテ、今後此上ニ假令實業教育ヲ獎勵スルノ必要ヲ認メマシテモ、地方ノ教育費ヲ増加セシムルヤウナコトハ固ヨリ困難ナルコトデアルト信ジマス、故ニ漸次漸次是ハ私立學校ヲ獎勵ヲ致シマシテ、私立學校ヲシテ程度ノ低イ實業教育ヲ施サシメルノ途ヲ開クノ必要ガアルコトヲ認メマシテモ、此改正案ニ於キマシテハ、廣ク公私立ノ實業學校ニ對シテ補助ヲ與ヘ得ルノ途ヲ開キタイト考ヘマシタノガ一點デアリマス、ソレカラ第二ハ現行法ニ依テ見マスルト、補助ハ一定ノ期間經常費ニ對シテノミ之ヲ與ヘルコトガ出來ナルコトニ相成ツテ居リマス、臨時費ニ對シマシテハ補助ヲ與ヘルコトガ出來ナイコトニナツテ居ルノデアリマス、然ル所ガ或ハ商船學校ニ於テ練習船ヲ購入イタシマストカ、或ハ又工業學校ニ於テ新式ノ機械ヲ買入レマストカ、若クハ又各種ノ學校ニ於キマシテ相當ナル書籍其他ノ設備品ヲ購入イタシマストカ云フヤウナ、此設備費ニ對シマシテモ臨時補助ヲ爲スト云フ必要ガアルコトヲ認メマシタノデアリマス、故ニ此改正案ニ於キマシテハ、經常費ニ對スル定期補助ノ外ニ、用途ヲ指定シテ臨時ニ是等設備費ノ爲ニ補助ヲ爲スノ途ヲ開キタイト云フガ又一點デアリマス、第三ニハ現行法ノ規定ニ依リマスト、御承知アラセラルガ如ク補助ハ五箇年ト云フ期間ガ一期トナツテ居ルノデアリマスガ、從來ノ實蹟ニ徵シテ見マスルニ、學校經濟等ノ狀態如何ニ拘リマセズ、五箇年ノ間固定シテ一定ノ補助ヲ與フルト云フコトハ、少シク長キニ失スル虞ガアリマス、デ本案ニ於キマシテハ三年毎ニ補助ヲ更新スルト云フコトニ致シマシテ、補助ヲシテ常ニ學校實際ノ狀態ニ適應セシムルコトノ

必要ヲ認メマシタノガ是ガ一點デアリマス、第四ニハ現行法ニ依リマスルト云フト、經常費ニ對スル補助ハ學校設立者ノ負擔額ヲ超エルコトヲ得ヌト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、然ルニ實業補習學校ノ如キ小規模ノモノデアリマスルト、他ノ各種ノ學校トハ事情ヲ異ニ致シテ居リマスルカラ、一般ノ制限以上ニ補助ヲ與ヘルノ必要ガアルト云フコトヲ認メルノデアリマス、故ニ改正案ニ於キマシテハ實業補習學校ニ對スル補助ニ關シテハ、臨時補助ノ場合ト同様、必シモ設立者ノ負擔額以下ニ限ルノ制限ヲ必要トシナイトコトシマシタノガ、又改正ノ要旨ノ一點デアリマス、第五ニハ現行法ニ依リマスルト直接ニ實業學校ニ對スル補助ノ外、實業學校教員養成ノ爲ニ一定ノ金額ヲ支出シ得ルコトニ相成ツテ居リマシテ、現在ニ於キマシテモ御承知アラセラレマス通リニ、或ハ農科大學ニ農業教員養成所ヲ附設イタシテ居リマシテ、或ハ又東京高等商業學校ニ商業教員養成所ヲ附設イタシテ、或ハ又高等工業學校ニ工業教員ノ養成所ヲ附設イタシマシテ、ソレ／＼皆實業教員ノ養成方ヲ努メテ居ルノデアリマス、是等ニ付テハ總額ノ八分ノ一以内ニ於テ此補助費ノ内ヨリ支出スルコトガ出來得ルヤウニ相成ツテ居ルノデアリマスケレドモ、尙此外ニ於キマシテモ、實業教育ニ關シマスル種々ノ調査ヲナシ、或ハ外國ノ例等モ取調ベマシテ、之ヲ印刷シテ各種ノ學校ニ配付スルヤウナ必要ガ常ニアルノデアリマス、然ルニソレ等ノモノニ對シテ經費ヲ支出スルノ途ガ開イテナインデアリマスルカラ、從來ノ制限ノ範圍内ニ於キマシテ教員養成費ノ外尙唯今述ベマシタル如キ、各種ノ必要ナル費用ニ充テ得ルコトノ出来ル途ヲ開キタイト云フノガ、是ガ又改正ヲ要シマスル一點デアリマス、以上述ベマシタル如キ五點ハ即チ改正案ノ中ノ重ナル點デアリマス、其他多少文字其地ニ付キマシテ改正ヲナシテ居ルコトハアリマスルケレドモ、煩ニ失シマスルニ依テ茲ニ説明ヲ省キマスルデアリマス、斯様ナル次第デアルニ依リマシテ何卒改正案ノ趣意ノ在ル所ヲ御了承ノ上御協賛アラムコトヲ希望

ドハ償還サセナクチヤアイカヌト云フ事實ガアリマシテ、既ニ此程ノ遠洋漁業獎勵法中ノ改正案ニ於キマシテ、廢止停止ノミナラズ償還ヲサセル……補助ノ條件ニ背イタ者ハ、既ニ與ヘタル補助金モ償還サセルト云フコトニ、既ニ政府カラモ出マスルシ議院モ其通リ認メマシテ、此間可決ニナリマシタガ

マシテ、矢張リ同一ノ服ヲ著テ實業ノ練習ヲ致シテ居ル場合ガアリマス、即チ實務ニ適當シナイヤウナ服ヲ著用イタシテ實業ノ練習ヲ致シテ居ルト云フコトハ、將來ニ於キマシテ實務ニ從事スルヤウナ風儀ヲ養フニハ不適當ナ方法デハナイカト考ヘテ居リマスガ、文部大臣閣下ニ於テハ如何ニ之ヲ御認ニナツテ居リマスルカ、御意見ヲ伺ヒタウゴザイマス

此文部省ノ方ニ於キマシテ此補助費ニ於キマシテ、今マデ償還ヲサセナクチヤアナラヌト云フヤウナコトハ起ツテ居リマセヌカ、ソレヲ一ツ御尋イタシタ

國務大臣奥田義人君演壇ニ登ル

○國務大臣(奥田義人君)御答ヲ致シマス、唯今村田サンヨリ御述ニナリマ
シタ點ニ付キマシテハ、文部省ニ於キマシテハ別ニ償還ヲサセルコトヲ規定
スルノガ不適當ナリト認メタノデハアリマセヌ、實ハアトカラ心付イテ見マ
スルト云フト、或ハ唯今御述ニナツヤウナ趣意ヲ書加ヘタ方ガ宜イカト思
ヒマスヤウナ次第アリマス、何レ委員會ニ於キマシテ相當ナル御修正ガア
リマスレバ、之ニ同意ヲ致シマスルコトヲ決シテ躊躇ヲ致シマセヌ
○男爵高木兼寛君　實業教育ノ獎勵ハ最モ適當ナコトデアリマシテ、何等申
述ブルノ必要ハナイノデアリマスガ、ソレニ付キマシテ文部大臣ニ伺ヒタイ
コトハ、地方ノ實業學校ノ實際ヲ見マスルニ、學校生徒ハ徽章附金鉢附ノ著
物ヲ著マシテ、磨皮ノ靴ヲ穿イテ稽古ヲスルト云フ姿ニナツテ居ル如ク見エル
ノデアリマス、必シモ磨イタ靴ヲ穿イテ居ルト云フ譯デハアリマセヌケレド
モ、評シテ見レバ斯ノ如キ有様ガ見エルノデアリマス、承ル所ニ依テ見マス
レバ、是等ノ實業學校ニ修業シタ者ハ業ヲ卒ヘタ後ニ、實際實務ニ就クコト
ヲ厭フガ如キ風ガ見エルト云フコトヲ承ルノデアリマス、若モ尙此上ニ獎勵
ヲシマシテ、斯ノ如ク實業ニ適當ナラザルヤウナ著服ヲ致シマシテ、學問ヲ
スル者ガ多クナリマシタラバ、益實業ニ就クコトヲ厭ヤガルヤウナ者ガ殖エ
テ參ルト云フ嫌ガアリハセヌカト思ヒマスルガ、此邊ニ付キマシテハ文部大
臣閣下ハ如何ニ御認ニナツテ居ルデセウカ、之ヲ承リタイノデス、例ハバ農學
校ノ生徒ガ實業ノ練習ヲナシマスルトキニ、金鉢附ノ著物ヲ著テ、烟ノ中或
ハ田ノ中ニ於テ實務ノ練習ヲシテ居ルト云フコトヲ見マシタノデアリマス、
是等ハ運動等ノ場合ニ於キマシテハ相當ナル著物ヲ著用シ、或ハ登校ノトキ
ニハ申述ベタ通り立派ナ服ヲ著テ居リマスガ、實業ニ就ク修業ノ場合ニ於キ

〔國務大臣奥田義人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（奥田義人君）御答ヲ致シマス、唯今高木男爵ノ御質問ハ、如何ニモ今日ノ状態ニ最モ反省ヲシナケレバナラヌ廉デアルト考ヘテ居リマスル、實業學校ニ於キマシテ實業ノ練習ヲナシマスル場合等ニ於テ、金鉢ノ洋服ヲ著テ實業ニ從事スルナント云フヤウナコトハ元ヨリ其當ヲ得ヌコトト信ジマス、往々ニシテ其弊ガアルガ爲ニ、文部省ニ於キマシテハ常ニ注意ヲ怠ラヌヤウニハ致シテ居リマスルケレドモ、將來ハ益、其注意ヲ十分ニ加ヘマシテ、唯今御話ニナリマシタルガ如キ弊ノナイコトヲ努メタイト考ヘマス○江木千之君 私ハ此實業教育ノコトニ付テ、茲ニ實業ニ關スル或ハ試驗場ト云フヤウナモノニ對スル補助費ノコトニ付テ束ネテ伺フテ置キタイト思フノデアリマス、農商務大臣モ御出席ニナツテ居リマスルカラ、幸ヒ此事ヲ伺ヒタイト考ヘル、此實業學校ノ獎勵費デアルトカ、ソレカラ實業ニ付テノ試驗場、農事試驗場、水產試驗場ト云フガ如キモノニ對スル補助費ハ誠ニ名義ハ宜シイノデアル、實業ノ獎勵ト云フコトデアリマスルカラ名義ハ誠ニ立派デアリマスルガ、儲是ガ實際ニ行ハレテ居ル有様ヲ見マスルト、實業學校ニ致シマシテモ、實業ノ試驗場ニ致シマシテモ、例ヘバ府縣デ一万圓カケテ實業學校ヲ建フテ居ル、二万圓カケテ試驗場ヲ設ケテ居ルト云フ所ニ、中央政府カラ千圓或ハ二千圓ト云フ補助ヲ與ヘルノデアリマスルガ、府縣ノ經濟ハ數百萬圓ノ經濟ヲ有フテ居ル、數百萬圓ノ經濟ヲ有フテ數萬圓ノ金ヲ投ジテ、學校ダケ、試驗場ダケ建フテ居ル、之ニ對シテ僅ニ千圓、二千圓ト云フ金ヲ投ジテ、果シテ何ノ益ガアルカ、實際ソレガ獎勵ニナルノデアルカ、以前地方人民ノナラズ、地方議會ノ心アル議員等ハ政府ト云フモノハ實ニ馬鹿ナ金ヲ使フモニデアル、僅バカリノ金ヲヤツタ所ガ、ソレガ地方經濟ノ助ニモナラズ、獎勵ニモ幼稚ナ場合ニハ、政府ガ金ヲ吳レルト云フ聲デ、是等ノ學校ナリ、試驗場ヲ奮發シテ建フルト云フコトモアツタカモ知レマセヌガ、今日ハ其大キナ經濟ニ對シテ僅バカリノ金ヲヤツタ所ガ、ソレガ地方經濟ノ助ニモナラズ、獎勵ニモ

何カ相當ナ事ガ出來ルデアラウニ、如何ニモ中央政府ト云フモノハ馬鹿ゲタ
金ヲ使ツテ居ルモノデアル、併ナガラ吳レルト云フ金デアルカラ、之ヲ貰ハヌ
ト地方人民カラ不深切デアルト云フ攻撃ヲ受ケルカラ、手數ヲシテ貰ッテ置ク
ガ、併シ今日ハ是ガ有ルカラ學校ヲ建テル、是ガ無イカラ試驗場ヲ廢スルト
云フ理由デハ決シテナイ、餘計ナ手數ナガラ貰ッテ置カウ、斯ウ云フ有様ガ實
際ニアルノデアリマスルガ、是ハ町村デアルトカ、或ハ私立學校、私立ノ試
驗場デアルトカ云フ財源ノ乏シイ所ニ於テハ、此數百圓或ハ千圓内外ノ補助
モ餘程利キ目ガアルノデアリマスルガ、府縣ト云フ如キ大キナ團體ニ對シテ
斯ノ如キ補助金ヲ與ヘルト云フコトハ、獎勵金ヲ與ヘルト云フコトハ、誠ニ
效能ガナイコトデアリマスルガ、此際ハ政府ニ於テハ諸般ノ整理ニ著手セラ
レマシタガ、是等ノ點ニ付テハ如何ナル方針ヲ採フテ經畫セラレタルコトデ
アルカ、單ニ此實業學校ノ一點ニ付テ御尋スルノデハアリマセヌ、實業ノ試
驗場等ニ付テ此補助獎勵金ノ交付方ハ如何ニ取扱ハレルカト云フコトヲ承リ
タイノデアリマス、尙文部省ノ政府委員ニ附ケテ一言承ツテ置キマスルガ、是
ハ隨分教育上大切ナ案デアルガ、教育調査會ニ付議セラレタノデアルカ、若
シ付議セラレナケレバ如何ナル理由デアラウカ、是モ併セテ承ツテ置キタイト
思ヒマス

〔國務大臣奥田義人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(奥田義人君) 唯今江木サンノ御尋ニ對シマシテ御答ヲ致シマ
ス、實業學校ノ國庫補助ノコトニ付キマシテハ、如何ニモ江木サンノ御話ノ
通リ、從來ハ或ハ必要ガアツカモ知レマセヌケレドモ、今日ノ狀態ニ鑑ミテ
見マスト云フト、最早、縣立ノ實業學校等ニハ補助ヲスル必要ハナイデアラ
ウト考ヘマシテ、文部省ニ於キマシテハ從來補助ヲ致シテ居リマスル期限ノ
経過ト共ニ、段々ト府縣立ノ學校ノ補助ヲスルコトヲ止メテシマフ方針ヲ採
リマシテ、現ニ本年ノ如キモ期間ガ満了ニ至リマシタ所ノ學校モアリマスル
ノデ、ソレ等ハ概ね補助ヲ止メルコトニ致シマシテ、唯東北ノ地方ノ如キ甚
シイ災害ニ罹リマシタ地方ダケハ、是ハ已ムヲ得ナイモノト致シマシテ、期
間ガ満了シタノニモ拘リマセズ、新ニ補助ヲ與ヘル方針ヲ採リマシテ、其以外
ノ町村等ノ如キ、極ク資力ノ弱イ所デ設立ヲ致シマシタ學校ニ補助ヲスルト
云フ方針ニ向ケツツアリマスルノデアリマス、ソレカラ此法案ヲ教育調査會
ニ諮詢ヲシナカツタノハ、ドウ云フ譯デアルカト云フコトノ御尋ノヤウデアリ

〔國務大臣奥田義人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(奥田義人君) 私ハ何モ全部サウ云フコトニナツテ居ルト云フコ
トヲ申上ゲタノデハアリマセヌ、今日ノ規定ニ依リマスルト云フト、實業ニ
從事ヲ致シマス時ニハ實業服ニ著換ヘナケレバナラヌコトニナツテ居リマス
ガ、併ナガラ教場ニ出テ教授ヲ受ケマシテ、其服ノ儘デ往々ニシテ金鉗ノ著
物デ實業ニ從事ヲシタリスルヤウナコトガアリマスルノデ、唯往々ニシテ規
則ニ違反シテ居リマスルヤウナコトヲ認メマスルカラ、左様ナコトハ將來ニ
於テ之ナキヤウニ致シタイト考ヘテ居ルト云フ趣意デ述ベマシタノデ、決シ
テ全部サウ云フヤウナ狀態ニ陥ツテ居ルト云フコトヲ述ベタノデハアリマセ
ヌ、尤モ江木サンノ御質問ニ對シマシテ試驗場等ノコトモ含マレテ居リマシ
タヤウニ考ヘマシタガ、ソレ等ノコトハ何レ農商務大臣ヨリ御答辯ニナルコ
トト思ビマス

〔國務大臣山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本達雄君) 江木君ニ御答イタシマス、成ル程農商務省ニ於キ
マシテハ、商業、農業、水產ノ如キモノニ至ツテ數多ノ補助ヲ與ヘテ居ルノデ
ゴザイマス、其中ニ於キマシテハ補助金ノ甚ダ少クシテ效力ノ薄イモノモ段

々アルヤウデアリマス、ソレ故ニ或ハ此補助ヲ尙ヨリ以上増シテ行ッタラバ
宣カラウト云フ者モアリマスシ、又其中ニハ餘リ少イカラシテ、一層是ハ廢
シタ方ガ宣カラウト云フコトガ多クノ中ニハアルヤウデゴザイマシテ、折角
其事ニ於キマシテハ是マデモ調べテ居リマシテ、此次ノ議會ニ至ルマデニハ
尙攻究ヲシテ、ソレ／＼増スモノハ増シ、廢スルモノハ廢スルト云方ノ尙
是以上ノ整理ヲ計リタイト云フ考、デアリマス、今日ニ於キマシテモ行政整理
ニ於キマシテ、多少其邊ノ取捨ヲ致シマジタガ、仍是デ十分ナリトハ申サレマ
セヌノデアリマスルカラシテ、尙今ノ御質問ノ趣意ノ如キモノニ於キマシテ
ハ、ドウカ取捨ヲ致シタイト思ウテ居リマス

○男爵石黒忠憲君 文部大臣ニチヨット伺フテ置キタウゴザイマス、一般ノ傾
向ガ斯ノ如ク補助ヲ受ケマスルコトハ私立學校ニ於キマシテハ頗ル光榮ノヤ
ウニ存ジマシテ、良イ學校ダカラ補助ヲ貰フコトガ出來ルト云フヤウニ皆考
ヘテ、自他トモニサウ云フ考ヲ有ツテ居リマスルカ、例ヘバ私立學校デ資金ガ
充實シテ居リ、教科モ備ツテ居リ、管理モ宜シキヲ得テ居ルト云フヤウナ學校
ニハ、此獎勵ノ爲トハ言ヒナガラ、補助ト云フモノハ御交付ニナリマスモノ
デゴザイマセウカ、ゴザイマセヌモノデアリマセウカ、若シ是ガゴザイマセ
ヌト致シマスルト、資金モ備ツテ居リ、教科モ具備シテ居リ、管理モ宜シキヲ
得テ居ル私立學校ハ、此補助ヲ得マセヌ爲ニ光榮ヲ失フデハアリマセヌカ、
却テ資金ガ足リナクテ、補助ヲ受ケテ居ルモノヨリモ、世ノ中ニ見ラレマス
コトガ、榮エテ居リマセヌヤウナ感ジガ致シマスガ、ソレハドウナリマスカ、
チヨット伺フテ置キマス

〔國務大臣奥田義人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(奥田義人君) 御答イタシマス、此實業教育費國庫補助法ハ唯今
御話ノ如ク、學校ニ光榮ヲ與ヘルトカ與ヘヌトカ云フコトノ趣意デ出來テ居
ルモノデハナイト私ハ認メテ居リマスル、私立學校等ニ於テ資金モ十分アリ、
管理モ十分行届イテ居リ、政府ノ補助ガナイカラト申シテモ、其維持及發展
ヲ促シテ行ク上ニ於テ差支ナイモノニ對シテハ補助ヲ與ヘルト云フ必要ガナ
イト思ヒマス、併ナガラサウ云フ學校ニ於キマシテモ、例ヘバ臨時ニ或新規
ノ機械ヲ買ハナケレバナラヌコトガアル、斯ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ
是非補助ヲ與ヘル必要ガアルトキニ於テハ、今通常ノ經費、通常ノ設備ハア
リマシテモ、其以外ニ設備ヲ要スルヤウナコトガアリマスレバ、ソレハ左様

ナ學校ニモ補助ヲスルコトハ決シテ差支ナイト思ヒマスクレドモ、本來ノ目
的ハ決シテ學校ニ光榮ヲ荷ハセントカ荷ハセヌトカ云フ趣意デハナイノデア
リマシテ、其學校ノ維持、將來ノ發展ノ上ニ於テ國庫ハ之ヲ補助シテ助ケル
ト、斯ウ云フ趣意ニ基イテ居ルモノデアラウト私ハ信ジテ居リマス
○藤田四郎君 私ハ甚ダ些細ノ點デアリマスガ、チヨット承フテ置キタイノデ
ゴザイマス、是ハ從來アル所ノ法律ノ改正ト云フコトデゴザイマスルガ、本
文ヲ見マスルト改正ト云フコトハ少シモ見エマセヌデゴザイマスガ、從來ノ
法律モ成立チ、此法律モ成立タセルト云フ御考デアリマスカ、チヨット伺ヒ
マス

○國務大臣奥田義人君演壇ニ登ル

○國務大臣(奥田義人君) 御答ヲ致シマスルガ、現在ノ法律ハ五箇條デ成立
テ居リマシテ、其中ニハ現在……今度ノ改正案ノ中ニハ現在ノ法律ト同ジ箇
條モアリマスルノデアリマス、併ナガラ大部分ハアフチコッチデ以テ改正ヲ加
ヘルノ必要ヲ認メマシタニ依テ、詰リ全部改正案トシテ提出イタシタ譯デア
リマス

○藤田四郎君 改正ト言ヒマスガ、本法ハ説明デハサウナツテ居リマスガ、從
來ノ法律ヲ廢止スルト云フコトモナシ、從來ノ法律ヲ改正スルト云フコトモ、
附則ニモ何モ見エマセヌヤウニ思ヒマスルカラ、前法ガ成立ツテ居ルヤウニ…
…況ヤ箇條モ違ツテ居リマスガ、如何デス

〔國務大臣奥田義人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(奥田義人君) 是ハ本年度、即チ本年ノ三月二十一日マデハ現行
法ヲ實施ヲ致シマスルノデアリマス、而シテ今度ノ改正案ハ、是ハ大正三年
ノ四月一日ヨリ實施ヲスルト、斯ウ云フコトニナリマスルノデ、詰リ舊來ア
リマスル所ノ法律ヲ全部改正ヲ致シテ、而シテ新ナル法律トシテ四月一日カ
ラ實施スル、斯ウ云フコトニナリマスルノデ、自ラ新舊ノ間ニ抵觸ヲ致シテ
居リマスルニ依テ、別ニ舊來ノ法律ヲ廢スルト云フコトハナクシテモ、自然
ノ結果、舊來ノ法律ト云フモノハ此新シイ法律ノ施行ニ依テ廢セラレルコト
ニナルト私ハ解釋ヲ致シマス

○藤田四郎君 マルデ從來ノ法律ニゴザイマセヌ事柄ガ……兩方アリマス所
ノモノヲ新シイ法律ニ依テ行フコトガ出來マセウカ、若シ前ノ法律ニ於キマ
シテ、今度ノ法律ニナイ所ノモノガ残ツテ居ツタナラバ、此箇條ハ殘ルト云フ

ノガ至當ノコトデハナイカト思ヒマスノデ、若モ現行法ハ三月三十一日限り廢止スルト云フコトガ載テ居レバ宜シウゴザイマスガ、載ツテ居リマセヌケレバ、從來ト異例ノ法案ノ書方ト思ヒマスノデ御尋ヲシタノデアリマス

〔國務大臣奥田義人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(奥田義人君) 御答ヲ致シマスルガ、新舊法律ヲ比較イタシテ見マスルト、第一條ガ元ノ儘ニ殘ツテ居ルバカリデアリマシテ、第二條以下ハ全部ソレヽ多少ノ改正ガアリマスルノデアリマス、而シテ此形式ノコトニ付キマシテハ、是ハ從來ノ手續ガ此通リニ相成ツテ居ルト私ハ信ジテ居リマス、即チ新舊法律ヲ比較ヲシテ、而シテ新法ニ依テ以テ舊法ハ自ラ廢セラレルモノデアルト云フ形式ニ相成ツテ居ルト私ハ信ジテ居リマス

○藤田四郎君 度々諄ク……サウ云フ例ハ私ハ見タコトハアリマセヌガ、何レノ法律デモ改正セラレタ時ハ從前ノ法律ハ廢止スルト云フコトガ書イテアルヤウニ思ヒマス、況ヤ箇條モ違ヒ事柄モ違フ、一條ダケ同ジデアトハ變ツテ居ルト云フ、謂ハバ兩方活キテ居ルト云フノガ普通ノ解釋ノヤウニ思ヒマスガ、ドウ云フ場合ニ於テサウ云フ例ガゴザイマスカ承リタウゴザイマス

〔國務大臣奥田義人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(奥田義人君) 御答ヲ致シマスルガ、同ジ法律ナノデアリマス、新シイ法律ガ出來ルノデハナイ、同ジ法律デアッテ内容ガ變ル、即チ實業教育費國庫補助法ト云フ法律ハ同ジ法律デアリマス、唯内容ガ變リマスノデアリマス、ソレ故ニ改正ニナリマシタ所ノ法律ガ實施ヲセラレマスレバ、其結果トシテ舊法ハ廢止ニナルト云フコトニナル、斯ウ云フコトニ從來ナッテ居リマス、今一々私ハ例ヲ覺エテ居リマセヌケレドモ、總テ左様ニナッテ居ルト信ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔東久世書記官朗讀〕

實業教育費國庫補助法改正法律案特別委員	伯爵萬里小路通房君	子爵本莊宗義君	男爵辻新次君
高崎親章君	男爵南岩倉具威君	男爵尙順君	
男爵清水資治君	岡田良平君		由雄元太郎君

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、畜牛結核病豫防法中改正法律案
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
右
大正三年二月五日
畜牛結核病豫防法中改正法律案

大正三年二月五日

内閣總理大臣	伯爵山本權兵衛
内務大臣	原敬
農商務大臣	山本達雄

畜牛結核病豫防法中改正法律案

畜牛結核病豫防法中左ノ通改正ス

第一條 乳用牛、外國種牛及雜種種牡牛ハ結核病ノ有無又ハ輕重ヲ定ムル爲行政官廳ニ於テ之ヲ検査ス其ノ他ノ畜牛ニシテ結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アルモノニ付亦同シ

第二條 前條ノ検査ハ臨床的診察ニ依リ又ハ臨床的診察及「ツベルクリン」ノ應用ニ依リ之ヲ行フ

第六條第二項ヲ削ル

第七條中第一項ヲ左ノ如ク改メ第三項中「輸入」ノ下ニ「又ハ移入」ヲ加フ

外國ヨリ輸入スル畜牛及主務大臣ノ指定シタル地方ヨリ移入スル畜牛ハ特ニ定メタル場所ニ於テ臨床的診察及「ツベルクリン」ノ應用ニ依リ之ヲ検査ス但シ主務大臣ニ於テ必要ナシト認メタル畜牛ニ對シテハ「ツベルクリン」ノ應用ニ依ラサルコトヲ得

第八條中「輸入」ノ下ニ「又ハ移入」ヲ加フ

第十四條中「畜牛ヲ輸入シ」ヲ「第七條ノ畜牛ヲ輸入又ハ移入シ」ニ改ム

第十六條ノ二 本法ニ於テ外國種牛、雜種牛、內國種牛、乳用牛又ハ雜種種牡牛ト稱スル畜牛ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條中「畜牛ヲ輸入シ」ヲ「第七條ノ畜牛ヲ輸入若ハ移入シ」ニ改ム

附則

〔國務大臣山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（山本達雄君）唯今議題ニ上リマシタル畜牛結核病豫防法中改正法律案ノ大體ノ説明ヲ致シマス、此豫防法ハ明治三十六年七月一日ニ實施ニ相成リマシタ、今日マデ年ヲ閱スルコトガ十年餘デゴザリマス、所デ最初此法律ヲ施行イタシマスル際ニ於キマシテハ、結核病ノ牛ノ數ガナカ／＼多カッタノデゴザリマスルガ、年々此法ヲ施行イタシマシタ以來、漸次ニ病牛ガ減少イタシテ參リマシタ、而シテ今日ニ於キマシテハ役牛又ハ食用ノ雜種牛ニ於キマシテ、著シク罹病ノ率ヲ減少イタシマシタカラシテ、今日畜牛界ニ於キマシテハ唯乳牛若クハ種牛ノ如キモノヲ除イテ、其以外ノ雜種牛ニ對シマシテハ、此検査法ヲ今日廢シテモ宜カラウト云フ見込デゴザリマス、又検査ノ方ニ於キマシテモ主トシテ「ツベルクリン」ノ注射法ニ依テ居リマシタガ、是モ或ハ臨床的診察、或ハ其「ツベルクリン」ヲ用キル上ニ於キマシテモ點眼反應、或ハ皮膚摩擦反應ノ如キ、簡便ニシテ効用アル方法ヲ此後用キタイト云フノデゴザリマス、此二點ニ於キマシテ改正ノ必要ヲ生ジテ茲ニ提出イタシマシタルコトデゴザイマス、何卒御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長（公爵德川家達君）別ニ御質問モナイト認メマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔東久世書記官朗讀〕

畜牛結核病豫防法中改正法律案特別委員

伯爵柳原義光君 子爵鳥居忠文君 子爵松平康民君
男爵石黒忠惠君 和田彦次郎君 男爵徳川厚君
木内重四郎君 中村治兵衛君 木本源吉君

○議長（公爵徳川家達君）議事日程第三、第四ハ同一委員ニ付託サレマシタカラ、委員長ノ報告ハ束ネテ致サレテ御異存ゴザイマセヌカラ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）議事日程第三、災害地地租免除法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、第四、改租延納年賦金免除ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載錄ス〕

災害地地租免除法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年二月六日

右特別委員長

伯爵徳川達孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

改租延納年賦金免除ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年二月六日

右特別委員長

伯爵徳川達孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵徳川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵徳川達孝君 災害地地租免除法案並ニ改租延納年賦金免除ニ關スル法律案、此兩案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ取束ネテ御報道申上グマス、私ガ今茲ニ申サズトモ、既ニ滿場ノ諸君ハ御承知ゴザイマセウガ、斯ル案ハ度々衆議院ヨリ提出セラレマシタガ、本年ハ政府案トシテ提出セラレマシタ、度々提出セラルル所ノ斯ル案ハイツモ本院ニ於キマシテハ否決ニナル所ノ運命ヲ有ツテ居ル所ノ歴史ヲ有スル次第デアリマス、斯ノ如キ次第故ニ、此案ニ付キマシテハ慎重ニ審議イタシマシタ、勿論如何ナル法律案ト雖モ慎重ニ審議セザルハゴザイマセヌケレドモ、サウ云フ歴史ヲ有ツテ居ル案デゴザイマス故ニ、殊ニ鄭重ニ審議ヲ致シマシタ、委員會ニ於キマシテ緻密ナル質問又詳細ナル答辯等モゴザイマシタガ、是ハ速記錄ニ載セテゴザイマスカラ、既ニ諸君モ御承知ゴザイマセウニ依リマシテ、其點ハ大略シテ置キマシテ唯委員會ノ模様ノ大要ヲ申上ゲヤウト存ジマス、既ニ御承知ノ如ク現行法ニ於キマシテハ水害ニ因リ田畠ノ收穫ノ皆無ノ場合ニ於テハ地租ヲ免除スルト云フコトデゴザイマス、水害以外ノ災害又ハ天候ノ不順ノ場合ニ因ツテ收穫ガ皆無ノ場合ニハ地租ヲ免除セズシテ、年賦延納ヲ許スト云フコトニナツテ居リマス、斯ノ如キコトデアッテハ此延納ト免除トドウモ調和ヲ保ツコトガ出來マセヌ、故ニ此際延納ト免除トノ調和ヲ保ツ爲ニ、地租條例ノ年ノ豐凶ニ依リ之

ヲ増減セズト云フ所ノ主義ノ例外トシテ、廣イ意味ノ免除ニシタナラバ、即ち霜害、風害、雹害、旱害、風水害ハ勿論、蟲害竝ニ天候不順ニ因ツテ生ズル所ノ災害、總テノ災害ニ對シテ地租ヲ免除スルト云フ、斯ウ云フ法案ノ趣意デアリマス、委員會ニ於キマシテハ本案ハ此場合適當ノコトデアル、殊ニ昨年ノ北海道ノ災害トカ、又東北地方其他ノ災害ト云フモノハ實ニ悲慘ヲ極メ、既ニ現今義捐金ヲ募集スルト云フヤウナ狀況デアリマス、故ニ此際本案ノ如キ免除ノ法案ノ出ルコトハ現今ノ場合ニ於テ必要ナルノミナラズ、將來ニ於テモ實ニ適當ノ案デアル、斯ル意味ヲ以チマシテ委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ可決ニナツタ次第ゴザイマス、併シ委員ノ中ニハニ三ノ希望ヲ述ベマシタ御方モゴザイマス、其希望ノ大要ハ收穫ノ皆無ト云フコトハ、成ル程讀メバ皆ナ無イト云フコトデアルケレドモ、政府委員ノ説明ニ依レバ、先づ平年作即チ主作物ノ二分三分位ノ所マデハ收穫皆無トスル、併ナガラ二分三分ト云フ所ヲ検査スルニ付テハ隨分困難ノ場合ガアルカラ、又其間ニ貧富ノ懸隔ニ依テ誤ツタ手心ヲスルヤウナコトノナイヤウニシテ貰ヒタイト云フ希望ガアリマシタ、又或一人ハ租稅ノ徵收ニ付テハ往々不正ノコトモアルシ、且又誅求ガ隨分劇シイト云フコトモアル、併シ收稅官吏ハ敢テ人民ヲシテ困ラセヤウト云フ譯デハアリマスマイケレドモ、成ルダケ多ク稅ヲ取ラウト云フ意味ヲ以テ、ツイ嚴酷ニ過グルヤウナコトモアルカモ知レヌカラ、無論政府ニ於テハ始終注意ヲセラルルコトデアルケレドモ、將來ハドウゾサウ云フコトノ無イヤウニ、此法案ハ公平ノ法案デアリマスカラ、此法律ヲ施行スル上ニ於テハ誠意誠心ヲ以テ徵稅セラルルヤウニシタイ云フ希望ヲ述べタ委員モゴザイマシタ、斯ノ如キ委員會ノ狀況デゴザイマシタ、引續キマシテ改租延納年賦金免除ニ關スル法律案、此委員會ノ模様ヲ御報道申上グマス、此案ハ是モ既ニ諸君ノ御承知ノ如ク、明治九年ニ地租改正ノ際ニ色々ノ事情ガゴザイマシテ、納期ガ遲延シテ完了シナイ地方ガアル、其完了セヌ所ノ地方ニ對シテ、假ニ其年ノ舊稅米ヲ基礎トシテ平均米價ヲ乘ジタルモノヲ以テ納租ヲサセル、改租ノ後、納租ノ資格アル者ハ之ヲ追徵シ、勿論一時ニ取立ツルコトハ民力ノ堪ヘヌコトデアリマス故ニ、相當ノ延納ヲ許可セラレマシタ、其不足額ト申スモノハ五十年以内ノ年賦ヲ以テ徵收スルコトニナツテ居リマス、遠イモノハ大正二十二年マデモ瓦ツテ居ルサウデゴザイマス、其金額ハ八百万圓以上デ、ソレモ追々納付ニナリマシテ、其殘ツテ居ル分ハ一千何百圓ト申スコ

トデアリマス、併ナガラ其納稅ヲ致ス所ノ國民ハ二千六百人モゴザイマシテ一人ノ納付額ハ極メテ僅少ナモノデアルニモ拘ハラズ、マダ五十年ノ年限ガ盡キス爲ニ、此多數ノ人カラ僅ナル金額ヲ徵收スルト云フコトハ、納稅者竝ニ之ヲ徵收スル所ノ政府ニ於テモナカノ煩雜ナコトデアリマス、一面ニ於テハ此災害ニ因ツテ田租ノ免除ト云フコトモ行ハレルコトデアリマスル故ニ、此際殘リノモノヲ切捨テ免除イタシタイ、斯ウ云フ趣意デゴザイマス、斯ノ如ク簡單明瞭ノ趣意故ニ、委員會ニ於キマシテハ整理上至當ナコトデアルト認メマシテ、是亦滿場一致ヲ以テ可決ニナツタ次第ゴザイマス、右兩案ノ御報告ヲ申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ於テ御異存ナケレバ兩案トモ同時ニ議題ニ致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○鎌田勝太郎君 本案ハ唯今委員長ノ述ベラレタ如ク歴史附ノ案デゴザイマスルガ、此度政府ガ發案ヲシ、貴族院ノ委員會ガ可決シタコトハ大體ニ於テ誠ニ結構ナコトト考ヘマス、デ政府當局者ニ同ヒタインハ、此第七條ニ依リマシテ本法施行前一年前ニ災害ニ罹ツタ所ノ免租スル所ノ金額ノ高、即チ東北及北海道其他全國ニ瓦リマシテ、此免除スペキ金額ハドレ位アリマスカト云フコトヲ御尋シタイ、今一つハ第八條ニ依リマシテ延納年賦金ニシテ未ダ徵收セザルモノハ免除ス、此免除ノ金高ガドレダケデアリマスカ、ソレモ同ヒタイ、ソレト今一つ同ヒタインハ、東北六縣及北海道ニ於ケル災害ハ實ニ非常ナ災害デアル、是ハ平年作ニ對シテ此收穫歩合ハドレ位デアルカ、是ハ委員會デ御尋ニモナツタヤウデモアリマスガ、此公開ノ席上ニ於テ政府ノ見ラル所、即チ何縣ニ於テ大凡ソ何割、何縣ニ於テ大凡ソ何割ト云フ見込ヲ確力ニ御陳述アラムコトヲ希望イタシマス

〔「政府委員菅原通敬君演壇ニ登ル〕

○政府委員(菅原通敬君) 鎌田君ノ御尋ノ第一第二ニ御答イタシマス、第一ノ第七條ニ依ル免租數額ノ高ハ大凡ソ六十萬圓バカリデアリマス、ソレカラハ民力ノ堪ヘヌコトデアリマス故ニ、相當ノ延納ヲ許可セラレマシタ、其不足額ト申スモノハ五十年以内ノ年賦ヲ以テ徵收スルコトニナツテ居リマス、遠イモノハ大正二十二年マデモ瓦ツテ居ルサウデゴザイマスカラ、別ニ修正等モ省ノ方カラ御答ヲ願フ積リデアリマス

出マセヌ以上ハ、讀會ヲ省略シテ直チニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○阪本鉄之助君 是ハ特別委員長ニ伺ヒタウ存ジマスガ、一部ト申シマスコ

トバ、政府ニ於テドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスカ、又天候不順ニ因ツテ收穫皆無ニ歸シタト云フコトハドウ云フ事デアリマスカ、ソレガ長ク行ハルルモノトナリマスト、殆ド昔ノ檢見制度ガ復興スルヤウナコトガアリハセヌカ、即チ政府ガ一大英斷ヲ行ハレタ地租改正ノ本義ガ殆ド沒却サレテシマツテ、年々政府ノ地租ニ於ケル收入ガ甚ダ不確實ナモノニナリハセヌカ、殊ニ此被害ノ事實ヲ調査スルト云フコトモアリマスガ、田ヲ刈ルトカ刈ラヌトカ云フコトニ付キマシテ、非常ナ不都合ヲ來タス事柄ヲ繰返ス弊害モ此法律ニ依テ生ズルコトニナルト認メマスガ、特別委員會ニ於テハ此邊ニ付テハドレ程マデ御審議ニナリマシタカ、政府ハ如何ナル答ヲ致シテ、委員會ハ如何ナル理由ヲ以テ之ヲ決メタノデアリマスカ、希ハクバ御説明ヲ願ヒマス

○伯爵德川達孝君 唯今阪本君カラ收穫ノ一部ト云フヤウナコトニ付キマシテ御尋デアリマシタ、ソレト同ジヤウナ質問モ委員會ニ於テ起リマシテ、大分、政府委員ヨリ詳細ノ説明ガゴザイマシタ、其要點ハ矢張リ唯今阪本君ノ御述ノ如ク昔ノ檢見制度ト云フモノガ……實際收穫ノ……平年作ノ何割何歩ト云フコトハ、隨分調査ガ困難ナコトデアルダラウト云フ問ガゴザイマシタトキニ、政府委員ガ申サレルノニ、御説ノ如クナカ／＼此事ハ困難ナコトデアリマスケレドモ、細ニ調査ヲスル故ニ差支ナイト云フコトデアリマシタ、ソレ以上ノコトハ本員ガ不得要領ノ御答ヲ申スヨリハ、政府委員ニ御尋ニナレバ

○阪本鉄之助君 天候不順ニ因ルト云フコトハ……
○伯爵德川達孝君 其事モドウゾ序ニ此政府委員ニ願ヒタイ
○阪本鉄之助君 特別委員會ノ筆記ヲ見マスレバ詳細ニ分ルコトデアラウト存ジマス、甚ダ茲デ御尋スルノハ如何ト存ジマスガ、餘程是ハ重大ナコトト考ヘマスカラ……年々特別法律ガ出マスルノハ、其時ノ事情ニ適シテ審議スルト云フコトデアリマスルガ、是ガ一定ノ法律ニナリマスルト、最早各府縣ニ於テ年々僅ナル災害デモ、天候不順ナドト稱シテ出願スルコトガ必ズ是ハ起ルコトデアルト存ジマス、遂ニハ舊幕府時代ノ檢見制度ト云フヤウナ弊ヲ生ジマシテ、地租改正ノ本義ハ殆ド沒却スル虞ガアルト云フコトヲ信ジマス、政府ハ如何ナル所見デアルカト云フコトヲ一應御説明ガ願ハルレバ結構デアリ

〔政府委員菅原通敬君演壇ニ登ル〕

○政府委員菅原通敬君 每年ノ收穫ノ多イ少イヲ見マシテ、ソレニ依テ地

租ヲ輕減イタシマス、増減イタシマスト云フコトニナリマスト、御説ノ通り全ク從前ノ檢見制度ニ立戻ルコトニナルノデアリマスガ、本案ハ收穫ノ多少ヲバ毎年ニ見マシテ、ソレニ依テ地租ヲ増減イタスト云フマデノ程度ノモノデハナイノデゴザイマシテ、即チ收穫ガ全ク皆無デアリマスカ、本案ハ收穫ノ多少ニ立チマスヤウナ弊ニハ陷ラヌト思フノデゴザイマス、併ナガラ收穫皆無ナリヤ否ヤト云フコトノ事實ヲ認定イタシマスニ付テハ、御説ノ通り検見制度ノ取扱ヲ致スト云フニ過ギナイノデゴザイマスカラ、御説ノ通り検見制度ノ下サナケレバナリマセヌ、又其事實ニ付キマシテハ納稅者ノ見ル所ト政府ノ見ル所ト考ヲ異ニスル場合モアラウト思フノデアリマスカラ、多少其間ニ取扱マシテ、多少ノ弊ヲ免レヌト云フコトハ覺悟ヲ致シテ居リマスガ、唯今モ御述ニナリマシタ如ク、從前ノ弊ニ立戻ルト云フコトニハ断ジテナラヌト思テ居リマス

○男爵中川興長君 讀會省略ニ贊成

○伯爵吉井幸藏君 贊成

○鎌田勝太郎君 先刻御尋シマシタ中デ、大藏省ノ政府委員カラハ答辯ガアガ、今ニ答辯ガアリマセヌガ、ドウカ答辯ヲ願ヒタイ

〔國務大臣山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本達雄君) 御答ヲ致シマス、御承知ノ通リ農商務省デハ年々ノ收穫ヲ全國ニ於キマシテ諸縣ニ求メマシテ、ソレ／＼其縣ノ收穫ノ高ヲ調ベテ居ルノデゴザイマス、今日モ既ニ一回二回三回ノ調デ實收……ドコ縣ニ於テハ平年ニ較ブレバ何分何割ト云フモノガ參テ居リマス、併シ一縣ニ付テノ高デアリマシテ、誰ノモノニハドレダケ、某ノモノニ於テ是レダケト云フヤウナ詳細ナモノハナイノデアリマス、唯一縣ニ付テ青森縣ハ何分、北海道ハ

ニシテ差上グルコトニ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、兩案第二讀會ヲ開クベシトスル

諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵徳川達孝君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

〔伯爵吉井幸藏君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 吉井伯爵ハ賛成デスカ

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
ニ供シマス、全部同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵徳川達孝君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り

デ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマ
ス、本日ハ是デ散會イタシマス

午前十一時十五分散會